

第16回 広島湾研究集会

— 広島湾におけるカキ採苗の好不調の原因を探る —

共 催：一般社団法人水産海洋学会，(研)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所，広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター，(研)産業技術総合研究所地質調査総合センター，広島大学大学院生物圏科学研究科・流域圏環境再生プロジェクト研究センター

日 時：2015年12月18日(金) 13:00～16:45

場 所：広島市西区民文化センター(広島市西区横川新町6-1)

コンビナー：首藤宏幸(水研セ瀬戸内水研)，相田 聡(広島総研水海技セ)，高橋 暁(産総研地質情報)，山本民次(広大院生物圏科学)

挨拶：和田時夫(一般社団法人水産海洋学会長) 13:00～13:10

趣旨説明：首藤宏幸(水研セ瀬戸内水研) 13:10～13:20

話 題

- | | |
|---|--------------------|
| | 座 長：相田 聡(広島総研水海技セ) |
| 1. 広島湾におけるカキ幼生の出現状況およびカキ付着状況 古矢健一郎(広島市水振セ) | 13:20～13:45 |
| 2. 広島湾におけるカキの採苗状況と海洋環境 阿保勝之(水研セ瀬戸内水研) | 13:45～14:10 |
| 3. 広島湾の流れとカキ浮遊幼生の動態 高橋 暁(産総研地質情報) | 14:10～14:35 |
| | — 休 憩 — |
| | 14:35～14:45 |
| | 座 長：高橋 暁(産総研地質情報) |
| 4. 北日本主要産地でのカキ浮遊幼生の発生と採苗状況 神山孝史(水研セ東北水研) | 14:45～15:10 |
| 5. 採苗安定化に向けた新たな試み 相田 聡(広島総研水海技セ) | 15:10～15:35 |
| 6. カキの種見作業の簡便化技術 浜口昌巳(水研セ瀬戸内水研) | 15:35～16:00 |

総合討論

座 長：山本民次(広大院生物圏科学)・首藤宏幸(水研セ瀬戸内水研) 16:00～16:45

開催趣旨：広島湾では一昨年、昨年とカキの採苗が連続して不調におわり、全国一の生産量を誇る広島県のカキ養殖にとって、種苗不足という深刻な事態を引き起こした。幸い、今夏の状況は好調であったものの、これまでも採苗不調の年は繰り返し出現している。この好不調の原因については、生まれてからホタテガイの殻に付着するまで(約2週間)の浮遊幼生の分散過程や、その餌料となる植物プランクトンの発生量などの観点から論じられてきた。しかし、未だ原因の特定には至っていない。そこで、本研究集会では、これまでの広島湾におけるカキ浮遊幼生の発生状況と採苗結果を整理・総括した上で、海洋環境との対応関係を検討し、採苗の好不調の原因を探る。さらには、カキの養殖用種苗の産地である三陸地域を中心とした北日本の採苗状況についても紹介し、原因究明の一助とするとともに、安定的で効率的な採苗技術の向上について提案・議論する。